

今年、お客様からお寄せいただいたご質問にお答えします！ 「クイックリサーチ FAQ」のご案内

SVPジャパンのクイックリサーチをご利用いただく会員の皆様から、今年、お寄せいただいたご質問について、FAQの形で、お答えいたします。今後も、身近なサービスとして、お気軽にご利用ください。

FAQ

Q1 コンサルティングシートを書いたのに、依頼内容確認の電話がかかってくるのはどうして？

ご依頼内容に対する理解を深め、調査の精度を上げ、より良い結果を導くためです。SVPでは、ご依頼内容確認を、「初期コンサルティング」と称し、重要なプロセスと位置付けております。調査スタート時に、目的や背景、お客様の仮説などを具体的にお聞かせいただくことで、調査の方向性や手法、時間配分を定めてまいります。望ましいアウトプットのイメージを、お客様とSVP情報コンサルタントの間で共有することが、より良い調査結果につながります。例えば、企業リスト作成の際に、できるだけ企業数を多く取得することを目指し、掲載項目は社名とURLのみとするのか、社数が少なくても、ノイズを極力排除した各社の詳細情報を含めたリストをご希望なのか、といったニュアンスを、お伺いした上で着手いたします。

Q2 初期コンサルティングは必要なの？

お客様とのコミュニケーションを通じて、ご依頼内容を具体化するために必要です。クイックリサーチは、1件当たりの調査時間が最大120分のため、ご依頼内容の中で、優先順位が高い項目、可能であれば調査をご希望される内容などの優先順位付けが必要となるケースがございます。また、漠然とした検索対象をご提示いただいた場合、入手可能なデータの概要や情報源をご提示することで、ご依頼内容を具体化していくことが可能になります。ダイレクトな情報の把握が難しいと思われる場合は、推計材料となるデータ収集・視点を変えたアプローチなどの代替提案も行います。限られた調査時間を有効に使い、より良い調査結果を得るために、情報コンサルタントが、お客様のご要望を形にしてい、お手伝いをいたします。

Q3 コンサルティングシート(調査依頼書)を書く時のポイントはある？

テーマを絞り込んで、ご依頼ください。1件のクイックリサーチで、ご対応可能な範囲は、1テーマが目安です。ただし、「AIの動向」のような形で、広範なテーマのご依頼をいただきますと、ご報告内容が、関連資料のご紹介にとどまる可能性もございます。「生成AIを導入した製造業の事例」等、より具体的にテーマを絞り込んでご依頼ください。

Q4 1回の依頼で、複数のテーマをお願いできないの？

クイックリサーチ1件(最大120分)で、調査可能な範囲のご報告となります。テーマが複数の場合、調査時間をテーマ数に応じて配分することになり、1テーマの情報量が薄くなります。また、多数のご依頼項目をいただいた場合、クイックリサーチの範囲で対応が難しいと判断し、プロジェクトリサーチのお見積りのご相談を申し上げるケースがございます。年間会員費の範囲で調査をご希望の際は、お手元に多数のテーマをお持ちの場合でも、複数のご依頼に分けて、順次、お申し付けいただくことで、よりスムーズに、調査に移行することができます。

Q5 依頼を分けて送ったのに、通常納期より時間がかかるのはどうして？

誠に恐れ入りますが、同日にいただいた複数のご依頼全ての、通常納期内でのご対応はいたしかねます。同日に同じ方から、複数のご依頼をいただいた場合は、最初のご依頼を担当する情報コンサルタントが、全ての案件の調査を担当いたします。1件ごとに、お時間をいただき、順次、調査結果をご報告いたします。優先順位があれば、お申し付けください。

Q6 通常納期よりも、急ぎで依頼したい時はどうしたらいいの？

クイックリサーチでは、原則として、ご依頼日（弊社営業時間内に受領）の翌々日のご報告となります。情報コンサルタントの調整がつく場合に限り、ご対応いたしますので、ご希望の納期を、お聞かせください。その際、最大の調査時間120分をかけることができず、ご指定の時間までに、入手できた限りの情報をもって、ご報告とさせていただきます可能性がございます。予めご了承ください。

Q7 情報コンサルタントの指名はできないの？

調査担当者の指名制はとっておりません。前回調査との関連性が高く、同じ情報コンサルタントが担当した方が、理解が早く効率的といったご事情があれば、ご依頼時に一言、お申し付けください。可能な限り調整いたしますが、情報コンサルタントの手持ち案件の状況次第で、他の者が担当するケースもございます。ご報告内容は、全社的に共有しておりますので、引き継ぎもスムーズです。ご安心ください。

Q8 よく提案されるけど、有料情報源って何？

主に商用データベースと記事コピーです。特定の業界動向や、競合他社動向といったテーマについて、新聞・雑誌記事情報を検索することで、各社のリリースを個別に参照するよりも、効率的に網羅性の高い情報を入手することができます。業界紙・専門誌などの定期特集で、製品・市場動向に関するまとまった情報を入手することができるケースもあります。市場規模データに関する、既存の数値情報が把握されていなかった場合などに、市場を概観できるのでお役に立つものと思われます。また、有用な文献等が、外部機関に所蔵がある場合は、コピー代・送料の実費のご請求が発生いたしますが、著作権が許容する範囲で、手配を承ります。

Q9 市場調査レポートのコピーを提供してもらえないのはどうして？

高額市場調査レポートの発行元からの要請により、無料複写の提供が禁じられております。弊社は、著作権保護の方針に基づき情報提供をいたします。発行元の利益を損なうことのないように、民間市場調査会社の高額調査レポートからの引用は数表データのみとし、同一資料からの数表の引用は、1品目につき3表までと定めております。また、全ての刊行物は、スキャナー読み込みによる電子化が禁じられており、メール送信ができないことを、ご理解いただければ幸いです。

次回は、“2023年下半期（7～11月）・調査テーマトップ10”を発表いたします。弊社サービス詳細等につきましては、左下のボタンより、ご参照・お問い合わせいただければ幸いです。



—SVP JAPANのサービスについて—

2営業日以内に調査結果をご報告

クイックリサーチ

[詳しくはこちら](#)

カスタムメイドのリサーチサービス

プロジェクトリサーチ

[詳しくはこちら](#)



—各種お問い合わせ—

資料ダウンロード

[こちらをクリック](#)



お問い合わせ

[こちらをクリック](#)



まずはお電話でもお気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-3249-0771 

資料ダウンロード
[こちらをクリック](#)

お問い合わせ
[こちらをクリック](#)

© SVP Japan All rights reserved.

s'il vous plaît
SVP JAPAN